

(別記様式)

平成25年度 府立桃山高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（ 計画段階 ・ 実施段階 ）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>○文武両道・自主自律の校是のもと、学習と部活動の両立を図り、知・徳・体の調和のとれた創造性あふれる心豊かな人間の育成を目指す。</p> <p>○SSHの学校づくりを進め、「自然科学科」や「普通科」それぞれの特色を踏まえ、生徒一人ひとりの個性や能力を伸長させ、魅力ある学校づくりを一層推進する。</p> <p>○公立高校の中核校として、次代を担う人材の育成を図るとともに、府民の期待に応える学校づくりを推進する。</p> <p>○新学習指導要領をふまえ、先行的な教育活動を推進する。</p>	<p>成果</p> <p>(1) SSH 指定3年目の中間評価において、文科省から「研究開発のねらいを概ね達成している」という肯定的な評価を得た。</p> <p>(2) 平成26年度入学生以降の教育システムを確定させることができた。</p> <p>(3) 生徒指導部と学年部の連携によって、遅刻が大幅に減少するなど基本的な生活習慣の改善が見られた。</p> <p>(4) 課題を抱える生徒に対して、教科担当者会議等を通して組織的に支援することで、成果をあげた。</p> <p>課題</p> <p>(1) SSH において、学校設定科目「GS ベーシック」の充実と京都府理数科教育の中核校としての事業強化を図る必要がある。</p> <p>(2) 「選ばれる学校」であり続けるために、新しい教育システムに対する広報活動を強化し、府民の理解を広げる必要がある。</p> <p>(3) 全ての学科・コースの生徒、特に普通科第Ⅰ類生徒の希望進路実現に向けて、組織的に取り組む必要がある。</p> <p>(4) 自転車乗車マナー及び携帯電話の使用マナーに対する指導を強化する必要がある。</p>	<p>(1) 平成26年度以降の本校の教育システムに対する中学生保護者の理解を広げるために、広報活動を強化する。</p> <p>(2) SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の2期目の指定に向けて、事業内容の改善と組織体制の強化に学校全体で取り組む。</p> <p>(3) 自主自律の精神のもと、生徒一人ひとりが主体的に学ぶ態度を育て、確かな学力を育成する。</p> <p>(4) 全ての学科・コースの生徒の希望進路実現に向け、体系的な進路指導体制を一層強化するとともに、全教員が授業改善に真摯に取り組む。</p> <p>(5) 基本的な生活習慣を確立させ、規範意識を高め、規律ある生徒集団を育成する。</p> <p>(6) 文武両道の校是を達成すべく、部活動の活性化を推進する。</p> <p>(7) 特別支援教育の充実を図り、問題を抱える生徒に対する支援に組織全体で取り組む。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策		評価	成果と課題
組織・運営	普通科・自然科学科それぞれの特色を生かした教育を展開し、府民の信頼に応えられる学校運営を推進する。	単独選抜への移行に向けて、本校の独自性と魅力をアピールできる、新しい入学者選抜制度や教育システムを構築する。	1	A	<ul style="list-style-type: none"> 志願倍率が市内公立高校の中でも顕著な高倍率となり、本校の魅力や目指す方向性が理解されたように思われる。 研修旅行については、今後検討の余地がある。
		学校関係者評価委員会やSSH運営指導委員会等、外部の意見を学校運営に生かす。	2	B	

教育課程の編成と実施	公立高校の中核校にふさわしい教育課程を編成する。	本校の将来像を具現化する平成26年度入学生用教育課程を編成する。	3	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 普通科1年を共通の教育課程とし、共通の指導を行うようにしたこと及びSSクラスを設置したことが中学生のニーズに合致していたように思われる。 評価の在り方について、今後検討する必要がある。
学習指導	自主自律の精神のもと、「ことばの力」の伸長等を通して、主体的に学習する態度の育成を目指す。	授業規律を徹底するとともに、生徒の学習状況や学習態度に対する情報共有のために、担任と教科担当の連携を強化する。	4	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始・終了時の挨拶や身だしなみ指導については全体として徹底できた。 1年自然科学科課題研究の英語発表は、レベルも高く、大変充実したものとなった。 放課後・土曜日等の自習室利用者が多く、学習における生徒の自主性を育てる場として効果的に機能した。 全体としては、授業は落ち着いており、授業態度も良好であるが、一部学ぶ姿勢に課題のある生徒が見られる。 「GSベーシック」については、さらに内容の充実と組織的運用に向けて工夫する必要がある。
		シラバスを活用して、自主的で計画的な学習態度の育成を図る。	5	B			
		自習室の積極的活用を呼びかけるとともに、大学生教育ボランティアを活用して学習支援体制を充実させる。	6	A			
	質の高い学力を育むために、質の高い授業の実現を目指す。	研究授業・公開授業・授業評価アンケート及び教員研修等を活用して、授業改善を図る。	7	A			
	自然科学科において、将来自然科学の分野で国際的に活躍するための基盤となる学力を育成する。	サイエンス・イングリッシュキャンプ及び1年生課題研究発表会での英語発表の充実を図る。	8	A			
		学校設定科目「GSベーシック」の充実発展に組織的に取り組むとともに、オリジナルテキストの作成を行う。	9	B			
進路指導	キャリア教育の観点に基づき進路意識を向上させる。	進路指導部と学年の連携を密接にとり、学年・学科・コースに応じたきめ細やかな進路ガイダンスを実施する。	10	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 例年通りのガイダンス等に加えて、今年度1年生対象に「カタリ場」を実施し、生徒の意識変革に効果があった。 AO・推薦入試に向けた小論文指導や国公立大の組織的な二次指導について、検討を要する。 平成26年度入学生の長期休業中の補習について合意を得ているが、土曜日の指導に
	全生徒の進路実現へ向けて、組織的な進路指導体制を構築する。	単独選抜への移行を見据えた補習体制の見直しを行い、全ての生徒の進路実現に資する効果的な補習体制を構築する。	11	A			
		第Ⅰ類生徒の模試受験及び進路補習受講を促すとともに、小論文や志望理由書等の組織的指導を充実させる。	12	B			

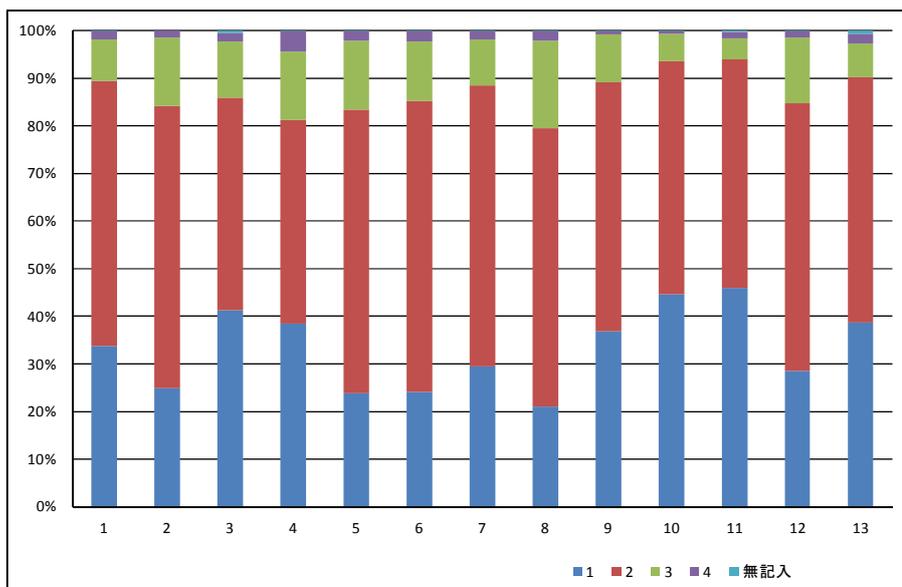
生徒指導・特別活動等	規範意識を高揚させ、良識ある人間性を培う。	携帯・スマートフォンの扱いに対する指導を強化するとともに、遅刻及び身だしなみに対して、教職員が一体となって指導にあたる。	13	B	B	B	について検討が必要である。
		自転車通学者に対する安全指導を徹底し、交通法規や交通マナーを逸脱した生徒に対する指導を強化する。	14	B			・授業中の携帯・スマートフォンの使用や自転車乗車に関わる問題行動等が少なからず発生した。生徒の社会性を高め自律的に行動できる力を育てる必要がある。
		いじめ・悪ふざけ・中傷など、個人の人権を脅かす行為の把握に努め、初期段階での確に対処する。	15	A			・いじめアンケートで見える限り、悪質ないじめ等の事象は見当たらず、生徒は概ね安心して過ごせたように思われる。
	集団としての連帯意識を高め、集団の一員としてふさわしい態度や行動力を育成する。	学校行事を組織的に運営できるよう、ノウハウのマニュアル化に取り組みるとともに、生徒会の活性化によって学校行事のさらなる充実を図る。	16	A			・行事のマニュアル化が進み、今後の組織的な運営に向けて大きな前進となった。
健康・安全	安心安全な生活を営む正しい判断力と行動力を養うため、安全管理と安全教育を進める。	ゴミの分別と減量化に向けて、学校全体で取り組む。	17	B	B	A	・保健委員会による「保健だより」の発行や美化委員会による活動によって、生徒の保
	健康面で自己管理する能力を育成する。	各学年の講演会や救急処置講演会を充実させるとともに、生徒保健委員会・美化委員会を通じた健康安全への啓発活動を促進する。	18	A			・保健意識・美化意識が向上し、校内美化が向上した。
	心身の健康に課題を抱えた生徒への支援を充実させる。	特別支援を必要とする生徒に対する教職員の共通認識・支援方法の確認を徹底し、組織的な対応をより一層充実させる。	19	A			・教育上特別な支援を必要とする生徒に対して、心のケアを組織的に行うことができ、成果をあげた。
読書指導	図書館利用を促進するとともに、読書指導を充実させる。	小論文対策の書籍など、進路指導に関する資料の充実を図るとともに、蔵書情報の発信によって、図書館の利用を促進する。	20	A	A	A	・図書委員会の広報活動や自主的な取組を通じて、来館者数が増加した。
情報管理	情報セキュリティを確保しつつ、効率的な校務管理を推進する。	ファイルサーバの安定的な運用を行い、校務の効率化・省力化を図る。	21	A	A	A	・校内ファイルサーバを日々支障なく使うことが出来、業務の省力化に繋がった。
広報活動	本校普通科の新しい教育システムや自然科学科の特色に関する広報活動の充実を図り、意欲を持つ生徒の志願に繋げる。	本校が行う学校説明会等を充実させるとともに、中学校訪問・塾訪問、府教委や塾主催説明会への積極的参加を通じて、中学生保護者の本校教育に対する理解を深める。	22	A	A	A	・本校が主催する学校説明会への参加者が倍増する中でも、丁寧に説明し理解を広げることができた。
		ホームページを通じたタイムリーな情報発信に努めるとともに、魅力ある学校案内や広報紙の発行を行う。	23	A			・普通科に対する説明の機会を増やす必要がある。

家庭・地域社会との連携	家庭・地域社会との連携を密にし、学校に対する信頼を確立する。	学校と保護者との連携を緊密にとるとともに、PTA 広報紙「きんがわら」への作成協力、「PTA お知らせメール」等を活用した情報発信を行い、本校の教育活動に対する保護者の理解を深める。	24	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 様々な機会を通じて情報発信を心がけたが、まだ不十分な面がある。今後とも、保護者とのコミュニケーションの場を積極的に持ち、相互理解を深める必要がある。
-------------	--------------------------------	---	----	---	---	---	--

学校関係者評価委員会による評価	<ul style="list-style-type: none"> 入学者選抜の結果を見ると、桃山高校がこれまで以上に「選ばれる学校」になっているように思われるが、地元以外の地域からの合格者が増える状況の中でも、学校と保護者の連携をしっかりと維持して欲しい。 桃山高校のSSHは、質的に年々確実に向上しており、生徒が科学を心から楽しんでいることがよくわかる。そのことが、他校にはない桃山高校の魅力になっている。 高校時代に、研修旅行でぜひ海外を体験させてやって欲しい。視野を広げる上できっと大きな成果を生み出すはずである。 文化祭等の学校行事は人間形成にとって重要である。学力の高い生徒が入学するようになっても、生徒の人間力を育てるために、桃山高校では大切にしたい。 昨今の若者の行動を見ていると、道徳心の欠如を痛感する。高校においても「心の教育」を大切にしたい。 						
-----------------	--	--	--	--	--	--	--

次年度に向けた改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 新制度のもとで入学する平成26年度普通科入学生に関して、学力実態に応じた効果的な授業展開や教材、評価の在り方について、組織的に研究を進め、望ましい在り方を確立する。また、キャリア教育の一環として、手帳の活用を、全教員の共通理解のもとで進める。 SSH2期目の指定に向けて、自然科学科を中核としながら、SSH事業を学校全体で展開するため、普通科SSクラスの高大連携事業導入をはじめ、普通科教育課程への課題研究の導入など、教育課程の研究開発を進める。 将来における「スーパーグローバルハイスクール」の指定を目指し、理系だけでなく、文系においても生徒にとっての魅力がはっきり見えるように教育活動の在り方を検討する。 国公立大希望者が増加していくことが予想される中で、AO・推薦入試、二次試験に向けた組織的で効果的な指導の在り方を確立する。 本校普通科に関する情報に対する中学生の高いニーズに応えるために、学校説明会の在り方を検討する必要がある。 生徒の規範意識を高めるため、特に校内での携帯・スマートフォンの適切な使用や自転車の法令・マナー遵守等に関する指導を強化する。 						
---------------	---	--	--	--	--	--	--

平成25年度 生徒対象 学校評価アンケート結果(学校全体)



1「よくあてはまる」 2「ある程度あてはまる」 3「あまりあてはまらない」 4「全くあてはまらない」

1	本校では、自分の進路や興味・関心に応じた類・類型や選択科目が設置されていると思いますか。
2	本校は、分かりやすい授業を工夫し、生徒の学力向上のために積極的に取り組んでいると思いますか。
3	本校では、部活動や生徒会活動が活発に行われていると思いますか。
4	本校は、学校祭（文化祭・体育祭）、研修旅行などの学校行事は充実したものになっていると思いますか。
5	本校の生徒は、遅刻・欠課や授業態度の点で、規律正しい学校生活が送れていると思いますか。
6	本校の生徒は、頭髪や制服の着こなしにおいて、学校のルールに従った行動ができていると思いますか。
7	本校の生徒は、挨拶や正しい言葉づかいができていると思いますか。
8	本校の生徒では、登下校時、交通安全を意識した行動がとれていると思いますか。
9	本校では、進路ガイダンス等を通して、進路に関する情報が十分に提供されていると思いますか。
10	本校では、進学補習や進路面談、模擬試験など、進路希望実現のための取組が十分行われていると思いますか。
11	本校では、いじめや暴力などがなく、人権が守られ、安心して通うことのできる学校だと思いますか。
12	本校の校内では、清掃・美化活動が十分行われていると思いますか。
13	総合的に見て、本校の学校生活は満足のいくものだと思いますか。